

『Mind Charging』

第 94 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 8 月 24 日

金八先生の名言



「人間」っていうのは、人と人の間で生きているから 「人間」っていうんじゃないかな。

いかにも金八先生の言葉といった『愛情』を大切にすメッセージです。ついつい自分の都合で物事を考えてしまいがちですが、何をするにも私たちは誰かの支えがあってこそ成立している部分が非常に大きいものです。周りを見渡せば仲間がいます。その仲間が周りを見渡した時、あなたもその中に大切な仲間の一人として入っているはず。自分を支えてくれる大切な仲間がいること、支えてあげたい大切な仲間がいることは人間として幸せなこと。

みなさんもこれまでの人生を振り返ってみて実感もあるかもしれませんが、人生とは思い通りにいかないものです。予想外の出来事もたくさん起きますし、“転機”も何度となく訪れます。“人生の転機”などといった使い方がありますが、この転機という意味を調べると『他の状態に転じるきっかけ』とあります。そういう時にこの言葉をきつと思い出すことになると思います。だからこそ転機そのものに対してチャンスと捉えられる時と、大きな悩みとなる時があります。いずれにしても、そこで何らかの答えを出さなければなりません、その時に出した自分の答えに賛同し、応援してくれる仲間を作ることが大切で、そんな人の間にいられたら、本当に幸せですね。

私は『おかげさま』という言葉が大好きです。人間として大切にすべきである『感謝の気持ち』というものを、非常に簡潔で美しく表現している言葉だと思いますし、忘れてはいけないことだと自分に言い聞かせるために、日々の生活の中で必ず思い返すようにしています。素敵な人間に成長していきたいですね。(編集委員：入試広報室 鈴木)

『3年B組金八先生』(さんねんビーぐみ きんぱちせんせい)は、1979年(昭和54年)から2011年(平成23年)までの32年間にわたって、TBS系で断続的に制作・放送されたテレビドラマシリーズ。日本の学園ドラマの金字塔と称される作品である。1979年からTBSで放送されていた学園ドラマ『桜中学シリーズ』のメインとなる作品。東京都の区立桜中学校(第3シリーズとスペシャル7・8のみ区立松ヶ崎中学校。いずれも架空)を舞台に、中学校の教員である坂本金八が、学級担任をしている3年B組内に起こる様々な問題を体当たりで解決していく。そんな彼の姿に心を打たれた生徒たちが考えを改め、人間として成長していく様子を描く。(Wikipedia 参照)